



2019年宮古島市の話題

下地島空港国際線等旅客ターミナル (みやこ下地島空港ターミナル)の供用開始	<p>下地島空港及び周辺用地の利活用事業として、三菱地所株式会社により進められていた、下地島空港国際線等旅客ターミナル(みやこ下地島空港ターミナル)が2019年3月に供用開始される。LCC路線や国際線の就航が見込まれており、人・物の流れの活性化による経済振興が期待される。</p>
宮古島市未来創造センター供用開始	<p>図書館と中央公民館の複合施設である宮古島市未来創造センターは、建物本体の建築工事が今年3月に完了を予定しており、その後、外構等を整備する。今年7月に本施設の供用開始を予定しており、市民の生涯学習の拠点施設として利活用を図っていく。</p>
伊良部地区に小中一貫教育校「結の橋学園」開校	<p>昨年4月に開校準備室が設置され、開校に向け準備を進めてきた宮古島市立小中一貫教育校「結の橋学園」(伊良部島小学校・伊良部島中学校)が4月に開校する。「ふるさとに誇りをもち、世界へはばたくいらぶの子」を教育目標に掲げ、キャリア教育や国際理解、英語教育等で特色のある教育活動を推進していく。</p>
宮古島市リサイクルセンター(プラザ棟)建設工事着手	<p>昨年完成したリサイクルセンター工場棟の隣に建設されるプラザ棟の工事が今年1月に着手される。完成後は、ごみの排出抑制や有効利用等の推進・実践をするなどの学習を行う普及活動拠点施設となる。</p>
宮古島市総合庁舎建設工事着手	<p>昨年基本設計が完了し、完成予想図が公表され、現在実施設計中の宮古島市総合庁舎整備事業は用地取得等を完了し、1月から造成工事に着手する。今年4月に建物本体工事に着手する予定となっており、平成33年開庁予定。</p>
国際クルーズ拠点港整備が本格化	<p>平成29年7月26日に国の国際旅客船拠点形成港に指定された平良港においては、2020年4月の14万トン級クルーズ船専用岸壁の供用開始に向け、整備及び受入施設の計画を着々と進めている。今後は、大型化するクルーズ船に対応できるような取り組みを行っていく。</p>
「プラス・ジャンボリー2019in宮古島」開催	<p>プロの指揮者や演奏家と共に大合奏を楽しみながら音楽の感動を作りあげる吹奏楽イベント「プラス・ジャンボリー」が3月に県内で初めて本市(JTAドーム宮古島)で開催され、県内外の吹奏楽愛好家による演奏会が行われる。</p>
入域観光客200万人に向け始動	<p>近年の入域観光客数の急増により本市を取り巻く環境は大きく変化しており、今後は下地島空港の開港やクルーズ専用岸壁の供用が開始される。更なる入域観光客増加を見込んだ観光振興計画を策定する必要があることから、当初平成32年改定の予定であった観光振興基本計画について1年前倒しし平成31年度を初年度とする第2次宮古島市観光振興基本計画の策定を進めている。</p>
サテライトオフィス供用開始	<p>平成28年度より可能性調査、企業誘致活動などの取り組みを行ってきた『サテライトオフィス@宮古島』は下地庁舎3階部分の機能強化の改修事業を完了後、「宮古島ICT交流センター」として今年3月の供用開始を予定しており、ICTを活用した地域活性化が期待できる。</p>
FM沖縄放送開始	<p>総務省の民放ラジオ難聴解消支援の一環で、FM沖縄がこれまで受信できなかった宮古島市地域における放送の受信が可能となる。沖縄本島以外で、同社が中継局を開設するのは今回が初めて。1月23日の本放送スタートを予定している。</p>